

小中一貫校・一貫教育問題

カリキュラム概要案に異議あり！
時間・空間・人間の
ギスギスした学校
に？

にじの丘学園のカリキュラムの概要で「基礎基本の習得」について、「5教科(国語、算数・数学、理科、社会、英語)の到達度を確認する全国標準の学力検査において、全ての教科、全ての観点で80%以上の子供たちがA判定の獲得を目指します」と書いてあります。

ただでさえ窮屈な日程で日々の授業を行っているのに、テストの時間が入り、それに伴う分析や指導を考えると、いっそうの負担となり、子どもも教師もくたくたになることは大いに予想されます。

また、児童生徒の現状把握、目標とする根拠の説明がなく、数字が独り歩きしています。「A判定」しかも「80%」という耳触りの良い数字や言葉に踊らされている感があります。目標に対して、不十分なら市は教職員の十分な補充等の条件整備を行うのでしょうか。目標の押し付けと、無責任な市の提案には賛成しかねます。にじの丘連区の小中学校では、児童生徒の減少で一度もクラス替えできない、部活動が成り立たず望ましくない教育環境が生まれている。それにより、切磋琢磨や多様な考えを知り学び合いがしにくく、

人間関係の固定化や狭く固定された人間関係の中で多感な時期を過ごすことになっていると述べています。これほどまでに否定的に述べ、さらに「自己肯定感や他者と協働しながら主体的に問題解決に向かう意識に課題がある」とわざわざ横線まで引いてあります。該当学校の教職員にとつてはなほ失礼で的外れな認識であると言わざるを得ません。小規模校の良さ、少人数学級で行き届いた教育が行われるといった利点が切り捨てられています。

教育活動において、「国語と算数に特化した習熟度、課題別学習」、「4・3・2のステップで子供たちのつまづきをなくす」としています。差別と選別の教育が一層進むと危惧しています。

外国語教育では、「9年間で英検3級程度の力をつける」としています。子どもたちが保護者にとつてはありがたい目標に思われます。現状からどれだけの課題を克服したら英検3級に到達できるのか、ある程度の目安や実現のための方策も示されずに、現場に丸投げと言わざるを得ません。少なくとも、日本語教育と英語を実施するための時間と空間と人間の充実が必要です。時間確保をどうするのか？教育設備をどうするのか？英語専任の教員をどう配置するのか？市民・教職員に見える形で提起していく必要がある

ります。前教育長は、人の配置は私の責任であると明言してきました。

我が国のモデル
市長先頭に進める

3月の市議会で、三木議員(自民新政クラブ)が次のような質問をしました。「市内はもとより全国のトップランナーとしてモデルになるべき学校と考える。・・・全市展開にも現実味が感じられない。今後どのような方針、スケジュールでこれらに取り組むのか」「小中一貫教育の導入という瀬戸市教育行政の大転換において、市はどのような姿勢で、また意気込みで取り組もうとしているのか」

これに対し、「にじの丘学園カリキュラム」を小中一貫教育の核として3月末までに公表すると市長は公言しました。このカリキュラムを基に、既設の小中学校で小中一貫教育を展開するために必要なソフトの整備をし、2020年度からの実施に備えるとし、引き続き丁寧に取り組むと述べ、全国のモデルとして注目があられ、分かりやすい発信、丁寧な対話を進めていくと発言しました。「我が国のモデル」として市長先頭に進めていくと重ねて意気込みを表明しました。

春

※ 今回は、一貫校の通学問題や備品等についてお知らせします。一貫校・一貫教育についての意見をお寄せください。

人事懇談会

3月4日、19年度の瀬戸教と市教委の人事懇談会を行いました。

言葉は確かに残っている。(組)現状は、教務・校務と他の主任とは違う。「四役」の言葉を現場で使わないように提案した。

《基本的事項》
1、本人の希望と承諾を原則とし、文書で正確に把握し意に反する異動は行わないこと。

(市) 個人↓校長↓市教委の聞き取りは相当密にやっており、正確にできている。

(組) 正確・記録が残る文書での希望調査を要望した。

2、人事異動は労働条件の変更であり、組合との話し合いを行うこと。

(市) 十分な説明をする。承諾を得られるように努力する。

(組) 歴代の人事担当者は、説明責任を果たすと明言してきた。

3、校長の恣意的人事が行われないようにすること。

(市) 相談には応じない。

4、学園(教育大同窓会、教友会)や組合の所属如何による差別人事を行わないこと。

(市) 差別人事など言っている場合ではない。

5、教務・校務主任は学級対応分として扱い、中間管理職としないこと。

(市) 中間管理職としての意識はない、「四役」という

6、「指導力向上を要する教員」を選定しないこと。

(市) いわゆるセンター研修について〇×でいうのはどうか理解してほしい。

7、「主幹」「指導教諭」を廃止すること。

(市) 主幹は中学校に1名、指導教諭はいない。

8、「再任用」は年金削減の代償措置であり、希望通り採用すること。

(市) 一番頭を使っている。希望地は大前提で、次に小中か、内容は3・4番目に。

他市での需要の関係で1名市外への転勤があった。

(組) 本人の希望する地域を優先にと伝えた。

主幹は、「個々の事情は配慮しており、個別の説明をする」と明言。

人事の内示不満は



瀬戸教と一緒解決を！

《連絡先》
幡山東小 甲斐824404

